

金環日食 2012/5/21

早水久雄

天文現象は、天気左右されます。今までに、いろいろな現象を体験してきましたが、そのたびに、一喜一憂を繰り返してきました。今回も、気象庁の日食日予報を毎日見ながら、「どうも、雲が多い日らしいな。2009年のように、雲の間から見えるかどうか？前回のよう、接眼レンズを抜いて、対物の直焦点の像を見てもらおうか？」と、半分は、あきらめた状態で考えていました。

今回の金環食は、広い範囲でたくさんの人が見られることから、どこかに望遠鏡を出して、皆さんに見てもらおうと考えていましたが、国立天文台からの、「通学時間でもあり、道路で見せないように」などの注意事項を考えて、地元の小学校の校庭で見せることに決めました。

事前に、学校と打ち合わせをして、当日、時間に来ている子に見せると言うことになりました。

一方、岐阜市の生涯学習センターから、岐阜天文台当てに、金環日食に向けた講座の講師依頼があり、私にお鉢が回ってきました。これが、5月19日。200人の定員に、280人くらいの応募があったそうで、抽選と言うことになりました。この日は大盛況で、1時間半の講座が終わった後も、30分くらい質問攻めに会いました。中学生くらいの子や、小学校のPTAの役員さんで観測会を計画している人など、熱心に聞いていかれました。

前日の予報を見ると、東海地方は晴れ区域、土曜日までは晴れ区域だった、関東・関西地方が、曇りの区域に変わっています。天気図は、東海上に高気圧で、前線が西日本の南海上にあり、前線の上下と、高気圧のがんばりがあるかどうかで、天気は全く読めないなと思いつつ当日の朝を迎えました。

当日、6時に起きてみると、切れ切れながら、晴れベースです。「この調子なら、曇ってしまうことはなさそう」と準備して、小学校へ出発する6時半頃には、何と快晴に！あとは、雲に邪魔されることはありませんでした。

望遠鏡は、持参の6cm屈赤と、小学校の6.5cm屈赤。ともに五島光学のもので、もう30年以上前のものです。私のは、黒点の観測をする関係上、3階の部屋に置きっ放しなので、かなりの年季が入っていますが、小学校のものは、ほとんど使われていなかったのでしょう。とてもきれいで、星も、よく見えました。この望遠鏡は、私がPTAの役員をしていたときに、天文教室で借りて使ったことがあり、はじめから太陽投影板もついていて、今回も、大変役立ってくれました。

ただ、望遠鏡を直接のぞかれるのが最も心配なところであり、大学生の娘に手伝ってもらって、2人で、望遠鏡に張り付くことにしました。

望遠鏡をセットしてのぞき始めたときは、すでに7時に近く、みるみる日食が進んでいきます。ほかに用意した、ピンホール望遠鏡や、厚紙に”ANNULAR ECLIPSE in JAPAN 2012.5.21”という文字を、1mm くらいの穴で開けて作ったものなどでも、見てもらいながら、投影板にも注意を向けるということになりました。

料理の「おたま」もある程度距離を離すと、同じようにピンホールの働きをすることから、それも時折使いました。

ピンホール望遠鏡は、意外に使いにくかったですね。太陽の方向を見ないで、ピンホールで出来る像を映さないといけません。長いと、持つのが不安定で、短い筒のものは、小さな像しか結ばず、初めて扱う人にとっては、難しかったようです。

それに比べて、ピンホールで文字を開けたものは、手軽で、50~70cm くらい離すと三日月状になった太陽像が映りますから、一度にたくさんの方が観察することが出来、なかなか好評で、驚いてもらえました。

また、たまたま車をおいたところが、木洩れ日で太陽像を結んでいて、ここは、皆さんが写真を撮っておられました。予め、木洩れ日でも見えますよと、報道もされていたので、皆さんはじめからご存じでした。

そうこうするうち、金環食が近づいてくると、あたりが、少し薄暗くなりました。ちょうど、夕立が来る時のように、夕方ではない薄暗さという感じです。こんな風になるんだと思いながら、周りの人にも注意を促して、実感してもらいました。

金環になるとときには、見えました！！ベイリービーズが。私も初めての経験で、事前の講座でお話したときにも、「ベイリービーズが見えますか？」と言われて、「経験がなく、わかりません。見えるといいですね。」とお話ししましたので、実際に見ることが出来て、大変よかったです。

金環になっている2分は、あっという間に終わりでした。周りで見ている人たちに、「もう終わりのようですね。」と話しかけると、「そうですね。何秒程度にしか感じませんでした。」という感想が返ってきました。今度もベイリービーズを見ることが出来ました。

金環が終わると、先生方が、子供たちに教室へ入るよう促し始めました。でも、熱心な保護者の方が、数人のこって、名残を惜しむように太陽面を見ておられます。

徹明小学校で最後に天文教室を開いてから、5・6年はたっていて、今の6年生も、望遠鏡は(学校の授業では)のぞいたことがないようです。現在のPTAの役員さんらしい人から、天文教室をまた開いてほしいと言われましたが、機会があれば、またお見せしますということになりました。

これだけ話題になって、運良く天気にも恵まれましたので、インパクトとしては、2001年のしし座流星雨以来のものになったようです。これを機会に、天文や、自然科学に興味を持ってくれる子が出てくるとありがたいなと思います。



木洩れ日を浴びた愛車
7時40分頃

皆で見るには、この方法。
ピンホールで文字の形に
作って観察。
6時58分頃



金環となり食分が最大となった頃の太陽。
7時32分頃。